

吉総第 1010 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

吉賀町長 中 谷



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のあった標記について別紙のと
おり回答します。

地方にとっては、道路は地域の発展・生長には不可欠な貴重な資源であります。

地方が自主発展するためには、地方の活力を涵養し、生成させる大切な働きを致します。

このことを基本として考えると、継続的な道路行政が執行されることと着工から完成までの期間が短くなければならず、マスコミで話題とされるような未完のまま放置されるようなことのないよう、十分な調査と地元の協力や必要性を重視しなければと思います。

○現状

国の医療制度改革により、医師の偏在を生み、地元の医師不足となっており、患者は救急車で都市部の医療機関へ搬送を余儀なくされている。

○課題

人命にかかわることであり、医療を考慮し、高速ネットワークの確立が必要。車歩道の分離や巾員の拡張等、早急な道路整備が必要。

日本列島を縦横に道路を整備し、多様性の向上と、地域・地域が連携し、自主的發展をすることが、国土形成が容易なります。

当地域では横断道路整備が不可欠となっており、既に完成されている中国自動車道を機能的に活用出来るのでこれから分岐する横断道路の整備やこれとつながる既設道路の整備状況次第であるが山村の自主發展の基盤としての道路は医療救急にまなほ、農林産物の供給、人の交流の糧として、今後の町村の維持に大きく寄与致します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

県 町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	国道の拡中、整備 高速道路の建設促進	人の交流や物流の利便 向上により地域の活性化 が行われる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	道路の高規格化や港湾、 空港へ接続する道路の整備	災害時の早期対応が 可能となり、最少限の被害 に止めることが出来る。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	車歩道の分離やバリアフリー化、 街灯等の整備による危害防止 と交通安全	老人、子供、障がい者 やさしい地域形成が 可能となる。	